

■ 基本方針と実現施策の評価・検証結果

凡例：「○」… 達成 ， 「×」… 未達成 ， 「-」… 評価・検証した時点で達成または未達成を評価・検証できない

基本方針1：下水道施設の機能維持				対象となるSDGs		評価・検証結果	備考
課題	基本目標	実現施策	具体的な取組	評価指標	目標値		
1 更新時期を迎えた施設の計画的な更新	(1) 施設の更新	① 計画的な処理場及びポンプ施設の更新	ストックマネジメント計画に基づく計画的な更新	計画に基づく事業実施率	100%/年	○	継続
		② 計画的な管路施設の更新(更生)	ストックマネジメント計画に基づく計画的な更新	計画に基づく事業実施率	100%/年	○	継続
		③ 施設の最適化	将来的なスペックダウン、ダウンサイジングを考慮した施設の最適化の検討	施設最適化に向けた見直し検討回数	1回/年	○	継続
		④ 雨水浸入水(不明水)対策	ストックマネジメント計画に基づく点検・調査結果による診断	計画に基づく事業実施率	100%/年	○	継続
2 施設の計画的な耐震化及び耐水化	(2) 施設の耐震化及び耐水化	① 施設の耐震化	総合地震計画策定 総合地震計画に基づく耐震化の実施	総合地震計画の策定 総合地震計画に基づく事業実施率(R4年度以降)	R3年度中 100%/年	○ -	R3実施済み。 実施率の評価・検証はR4以降。
		② 施設の耐水化	耐水化計画策定 現状把握、先進事例の研究	耐水化計画の策定 先進事例、実施踏査等による研究回数	R3年度中 1回/年	○ ○	R3実施済み。 継続
3 適正な施設の維持管理	(3) 点検調査に基づく維持管理	① スtockマネジメント計画の見直し ② 施設管理システムの活用	ストックマネジメント計画に基づく計画的な点検調査 施設管理システム導入の検討	計画に基づく事業実施率 施設管理システム導入の検討回数	100%/年 1回/年	○ ○	継続 継続
4 環境問題への取組の継続	(4) 環境に配慮した施設運営	① 水質(放流水等)管理 ② 発生汚泥の資源化	計画に基づく水質検査の継続実施 発生汚泥の100%資源化の維持	計画に基づく検査実施率 発生汚泥の資源化率	100%/年 100%/年	○ ○	継続 継続
5 雨水への対策	(5) 雨水浸水対策の検討	① 雨水事業の推進	雨水浸水域の解析	雨水浸水域の解析	R3年度中	○	R3実施済み。
6 新技術の活用	(6) 新技術の活用	① 新技術の調査・検討	新技術導入に関する情報収集	研修会・企画展参加等による研究回数	1回/年	○	継続

基本方針2：持続可能な事業運営のための組織強化				対象となるSDGs		評価・検証結果	備考	
課題	基本目標	実現施策	具体的な取組	評価指標	目標値			R3年度
1 業務執行体制の弱体化	(1) 人材育成及び技術・知識継承	① 内部研修(OJT)の実施	内部研修(OJT)の実施	実施または受講回数	1回/人・年	○	継続	
		② 外部研修(OFF-JT)への参加	外部研修(OFF-JT)への参加	受講回数	1回/人・2年	○	継続	
2 複雑化及び増加する業務への対応	(3) 業務の効率化	③ 先進事業者との情報交換等	情報交換会の企画・参加	企画または参加回数	1回/人・年	○	継続	
		① 適正な人員配置・執行体制の確保	① 適正な人員要求	市人事局への要求	市人事局への要求実施	1回/年	○	継続
		② 各種事務の効率化	業務の把握・見直し	業務改善の提案件数	1回/年	○	継続	
		③ 業務マニュアルの更新	業務マニュアルの見直し	業務マニュアルの見直し回数	1回/年	○	継続	
3 災害時の適正な対応	(4) 危機管理対策の強化	④ ICTの導入・DXの推進	ICT導入・DXの推進に関する情報収集	研修会・企画展参加等による研究回数	1回/年	○	継続	
		⑤ 処理場等施設包括的民間委託の向上	委託レベル1からレベル2以上への検討	現状把握、向上検討会議の実施回数	1回/年	○	継続	
4 経営戦略等各種計画の適正執行	(5) 経営戦略等の進捗管理	⑥ 管路施設の包括的民間委託の検討	※レベル1：運転管理の性能発注 レベル2：運転管理とユーティリティ管理を併せた性能発注 現状把握、先進事例の研究	現状把握、先進事例の研究回数	1回/年	○	継続	
		① BCP(災害時行動マニュアル)更新	BCP(災害時行動マニュアル)の見直し	BCP(災害時行動マニュアル)の見直し実施回数	1回/年	○	継続	
5 経営戦略等の進捗管理	(5) 経営戦略等の進捗管理	② 応急復旧体制の確保	近隣市及び民間から応急復旧用資材確保の検討	応急復旧用資材確保の検討回数	1回/年	○	継続	
		① PDCAサイクルのローリング	実績・検証会議の実施	実績・検証会議の実施及び分析結果の公表回数	1回/年	-	R3が計画初年度にあたることから、評価はR4以降。	

基本方針3：経営基盤の強化				対象となるSDGs		評価・検証結果	備考
課題	基本目標	実現施策	具体的な取組	評価指標	目標値		
1 収益的収支ギャップの解消	(1) 経費回収率の向上	① 事業年度ごとの検証	決算を踏まえた財政シミュレーションの実施	決算を踏まえた財政シミュレーションの実施	1回/年	○	継続
		② 審議会による見直しの検討	審議会の開催	審議会の開催	1回/5年	-	経営戦略及び前回使用料等審議会の意見に基づき改定はR5を予定。審議会はR4開催(現在審議中)。
2 適切な財源確保	(2) ※(水洗便所設置済人口/処理区域内人口)	① 普及活動の実施	訪問及び郵送による普及	訪問及び郵送件数	50件/年	○	継続
		② 効率的かつ効果的な企業債の活用	ストックマネジメント計画・投資財政計画に基づく適正かつ適切な財源確保	ストックマネジメント計画・投資財政計画に基づく適正かつ適切な財源確保	1回/年	○	R3の水洗化率は88.8%で前年度から△0.5ポイント。R3排水設備工事検査件数は新築116件、増改築55件であり、接続件数増加の実績はある。水洗化率の減少は、接続件数増加による接続人口の増加以上に、核家族化等の世帯構成の変化による処理区域内接続人口の減少があったことが要因と思われる。
3 公共下水道事業の理解不足	(3) 積極的な情報発信	③ 一般会計繰入金金の精査	市財政部局との協議	市財政部局との協議実施	1回/年	○	継続
		④ 適正な資産管理	① スtockマネジメント計画の精度向上	点検調査結果及び改築更新データを台帳システムへ蓄	資産台帳の更新回数	1回/年	○
4 「広域化・共同化」の検討	(4) 積極的な情報発信	① 多角的(戦略的)な広報の実施	経営状況、事業実施状況等の情報公開	予算、決算の公表	1回/年	○	継続
		② 近隣市との情報共有	近隣市との実務研修会・検討会の共同開催	経営戦略の改定回数 ホームページの見直し実施回数	1回/5年 1回/年	- ○	経営戦略は5年に1回見直すこととしている。次回見直しはR7を予定。 継続
5 「広域化・共同化」の検討	(5) 積極的な情報発信	③ 一般会計繰入金金の精査	市財政部局との協議	施設見学の受入れ	都度	○	継続
		④ 適正な資産管理	① スtockマネジメント計画の精度向上	点検調査結果及び改築更新データを台帳システムへ蓄	施設見学の受入れ実施	都度	○
6 「広域化・共同化」の検討	(6) 「広域化・共同化」の検討	① 県との情報共有	県主催の検討会への参加	検討会への参加回数	1回/年	○	継続
		② 近隣市との情報共有	近隣市との実務研修会・検討会の共同開催	研修会・検討会への参加回数	1回/年	○	継続

※本表については、各施策の進捗に伴い、評価検証と併せて修正を行っていくものとします。